令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画案 江戸川区立清新ふたば小学校

学校教育目標 ○しなやかな子ども ○おだやかな子ども ○すこやかな子ども	国が定める総合的な学習の時間の目標 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
--	---

本校が定める総合的な学習の時間の目標 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 探究的なプロセスの中で、よりよく課題を解決するための知識や技能を身に付け、問題解決的に学ぶことのよさを理解するとともに、清新町・江戸川区や身近な社会の「ひと」「もの」「こと」に関して自らの姿勢や態度の変容に結びつく概念を形成する。 (2) 清新町・江戸川区や身近な社会の中における自分の思いや願いを実現するために問題場面に気づき、課題を立て、情報を集め、観点に応じて整理・分析したり、判断したりすることで対象を捉え直すとともに、必要な言葉を選び、情報を的確に伝えたり、受け取ったりする表現力を育成する。 (3) 思いや願いを実現するために粘り強く取り組む中で対象を自分に引き寄せてかかわりその価値を実感したり、願いや目標を更新したりするとともに仲間と協働的に学習に取り組む中で、学んだ内容や、自分自身のよさに気づき、それを生かして学校や地域社会における自らの暮らしを豊かにしていこうとする態度を養う。
--

本校が定める内容				
学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
3年	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり)	・町づくりを推進する人々や機関が存在し、役割を果たしていること。(連携性・努力) ・これまでに町の活性化のために尽力してきたこと。(連携性・努力)	課: 事象に対する疑問や思いをもとに課題を設定する。 情: 課題解決に必要な情報を図書館資料やインターネット、メディアから収集する。(体験・GTも含む) 整: 複数の情報を比較したり、相互に関連付けたりする。 ま: 調査したことやまとめたこと、自分の考えなどを目的に応じて分かりやすく表現する。	・課題の解決に向けて主体的に取り組む。 ・自他の考えを交流しながら、協働的に学ぶ。 ・学習を振り返り、目的を意識した自己評価・相互評価をする。
4年	身近な自然環境とそこに起きている環境問題(環境)	・身近な自然において、生物はその周辺の環境と関わって生きていること。(相互性) ・自然環境は、様々な要因が重なり合って起きており、それらを解決するために、都や地域の人々が協力して環境保全に努めていること。(連帯性、努力)	課: 事象に対する疑問や思いをもとに課題を設定する。目的意識を明確にもち、学習計画を立てたり、修正・改善したりする。 情: 目的に応じた的確に収集選択し、蓄積する。 整: 情報を多面的に見たり、類推したり、知識や技能と関連付けながら分析する。 ま: 学習を通して構築した考えを目的や相手に応じて分かりやすく表現する。	・学習を振り返り、探究のプロセスを意識しながら学習をする。 ・学習して獲得した概念を実生活・実社会に生かしていく。
5年	防災のための安全な町づくりとその取組(防災)	・地域や江戸川区の方々は協力しながら災害に備えた安全な町づくりに取り組んでいること(連携・協力) ・地域には異なる文化をもつ人々が住み、その人たちが大切にしている文化や価値観があること。(多種・多様)	課: 事象に対する疑問や思いをもとに課題を設定する。目的意識を明確にもち、学習計画を立てたり、修正・改善したりする。 情: 目的に応じた的確に収集選択し、蓄積する。 整: 情報を多面的に見たり、類推したり、知識や技能と関連付けながら分析する。 ま: 学習を通して構築した考えを目的や相手に応じて分かりやすく表現する。	・学習を振り返り、探究のプロセスを意識しながら学習をする。 ・学習して獲得した概念を実生活・実社会に生かしていく。
6年	共生社会や国際社会の平和の実現	・障害をもつ方々の生き方とその人々を支える人々がいること異なる文化や価値観があること。(連携性・努力)	課: 事象に対する疑問や思いをもとに課題を設定する。目的意識を明確にもち、学習計画を立てたり、修正・改善したりする。 情: 目的に応じた的確に収集選択し、蓄積する。 整: 情報を多面的に見たり、類推したり、知識や技能と関連付けながら分析する。 ま: 学習を通して構築した考えを目的や相手に応じて分かりやすく表現する。	・学習を振り返り、探究のプロセスを意識しながら学習をする。 ・学習して獲得した概念を実生活・実社会に生かしていく。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・各学年、「地域」を共通のテーマとしながら探究活動を行う。 ・単元は学年で開発し、年間1単元とする。	・教科と関連的な指導の重視 ・協働的な学習活動の重視 ・考えるための技法の活用	・保護者、地域の方などをゲストティーチャーとして活用する。 ・ゲストティーチャーや関わった団体・企業などを人材バンクとして記録する。	・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実